

奈良女子大学との協働企画を通じて

所属 環境農学専攻 造林学研究室
学年・氏名 修士2年 宮崎 麻実

運営を通じて失敗・成功を経験したい、自分の力を試したいという目的を持ってこの企画に参加しました。参加したことで様々な壁にぶつかり、自分の特性（長所・短所）、企画運営の大変さ・やりがいなど多くのことを学ぶことができました。

私たちの立案した企画は「アウトプットによる還元、アウトカムによる評価」を目指した「環境問題を通じて新知見の提供、視野の拡大を高校生に与える授業」でした。立案の際には、やりたい事、院生とは何か、企画を行う目的など多くのことを考えて決定する事、また参加者16人全ての考えを統一する事の難しさをリアルに体験できました。運営を自ら行う事で、何が重要なのか、いつ相手とのズレが生じるのか、実際に感じ考え行動してきた事はぜひ今後活かしたいです。

【企画を終えて振り返って思うこと】

一つは、はじめに立てた目的が意外に達成できていたことです。企画運営中は授業の準備など一つ一つのことに集中しすぎていたため、目的をあまり意識せずに進めていました。それでも目的が維持されていたのは、一つ一つの会議で時間をかけ思いをぶつけ合う事で参加者全員の中に浸透していたからだと考えます。効率性を重視して会議方法を工夫してきましたが、時間をかけて話し合う事も大切なのかもしれません。

もう一つは、説明することへの意識を得られた事です。大学では専門的な知識を持っているためある程度の説明で伝わる相手に説明を行うことが多いが、高校生という専門的な知識のない相手に自分の考えを伝える事を通じて、順を追った論理的な説明の大切さを感じました。

本企画は割石先生をはじめ支援室の皆さまなど多くの方々の助言や支えがあって実現できました。多くの気づきを与えていただき本当にありがとうございました。